

昨日の午後、空にはスギ花粉による花粉光環が長く現れていました。昼間だけでなく、夕方になって太陽高度が低くなっても、淡い虹色の輪ははっきりと見え続けていました。花粉光環を写真に写すためには、太陽本体の強い光をそのまま写さないよう、建物などの地上物で光球を遮る必要があります。今回は建物の角で太陽を隠し、その周囲に広がる光環を狙って撮影しました。

ちょうどその頃、羽田空港へ着陸する航空機が、東京23区の西部上空を通過していく時間帯でもありました。近年は飛行経路の変更により、この地域の上空を次々と航空機が通過していきます。太陽高度が下がる夕方は、飛行機が太陽の手前を横切る可能性が高く、花粉光環と機影を同時に写せる絶好の条件でした。

そこで、太陽の前を通過する機体を狙って何度もカメラを構えました。航空機は数分おきに現れ、タイミングさえ合えば印象的な写真になるはずでした。しかし実際には、太陽の位置と飛行機の通過位置が微妙にずれ、惜しい場面が何度も続きました。ようやく画面に入った機体も、理想的な位置には届かず、思い描いた一枚にはあと一歩及びませんでした。それでも、花粉光環の前を横切る航空機の姿は印象的で、春の大気の様子をよく表していました。次に同じ条件がそろう日に、もう一度挑戦してみたいと思います。

